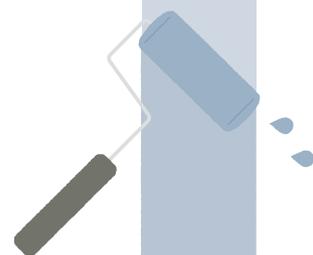


リバンプエ法シリーズ
リバンプコート

アクリルゴム系外壁防水／外壁塗装



建物の長寿命化に向けて

—スクラップ&ビルドから既存建物の長寿命化の時代へ—

長寿命化改修工事において「構造体(躯体)の改修」は必ず実施する工事とされています(文部科学省「学校施設の長寿命化改修工事の手引き」平成26年)。しかしながら、長寿命化改修工事を検討するような40年以上供用された建物の躯体の状態は決して一律ではありません。それは、立地や環境、仕様、維持管理の方法などにより、躯体の状態も変わってくるからです。

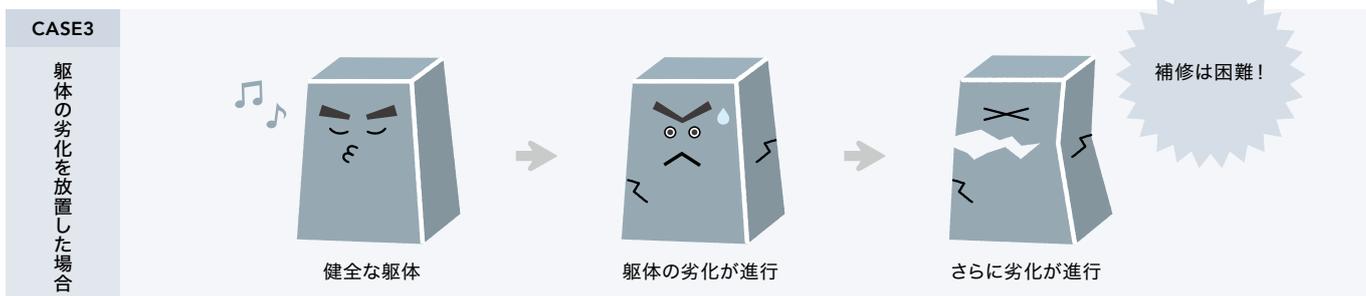
すなわち、建物毎に躯体の状態を把握し、それに適した補修を行うことが、建物の長寿命化を成功させるポイントとなります。

劣化の状態に応じた躯体そのものの補修手法と、適した表面保護の手法を適宜組合せて使用することが、建物を長寿命化へと導きます。

状態に応じた補修手法として活用できる
中性化・塩害化学療法「リバンプ工法」



亜硝酸リチウム下地に適合(リバンプ工法の上に直接施工が可能)
既存塗膜への増塗り施工も可能
外壁防水・外壁塗装「リバンプコート」



※亜硝酸リチウムによる効果的な躯体補修工法「リバンプ工法」については別冊「コンクリート改修・長寿命化ガイドブック」をご参照ください。

水を考慮した外壁防水・外壁塗装「リバンプコート」

鉄筋腐食の原因となる **水** の要素を遮断する

建物にとって一番の敵は「水」です。建物の漏水は社会生活上大きな問題であり、また建物自体に対しても鉄筋の腐食を進行させるなど、耐久性を著しく低下させる要因となります。建物には水を防ぎたい部位、入ってしまった水を排出させたい部位があり、部位により求められる機能がそれぞれ異なります。そのような部位毎の特長を理解し、総合的に水を考慮した適切な納まりのために、躯体補修から機能性保護仕上げまでをシステム化しました。それが中性化・塩害化学療法「リバンプ工法」と、外壁防水・外壁塗装「リバンプコート」の組合せです。中でも「リバンプコート」は「水」の特性を考慮した外壁防水・外壁塗装で、建物の状態や部位に応じ適切に使用することで、様々な状況下にある建物の長寿命化を可能にします。

「水」を考慮したコンセプトと適用部位

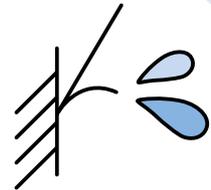


防水性

近年の気象条件下では、強い風雨によって屋上だけでなく外壁からの漏水も増えています。そこで外壁の仕上げ材には防水性という機能が求められ、下地のひび割れなどにも追従する柔軟性に富む防水皮膜がこの機能を担います。



透湿性



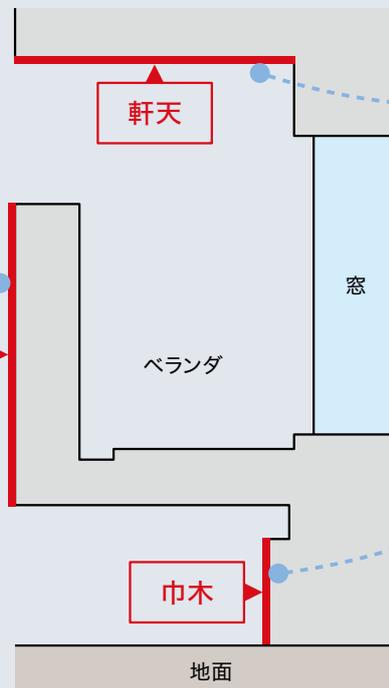
撥水性

庇や軒天、巾木などの部位に水が浸入した場合、その水分の行き場がなくなり、防水層や塗装の膨れが生じることから、これらの部位の仕上げ材には水を透湿させる機能が求められます。

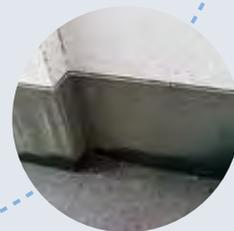
透湿性があるということは一方で水分を通しやすいことにもつながるため、撥水機能と併せて持たせることで、相反する役割を両立させています。



劣化した外壁



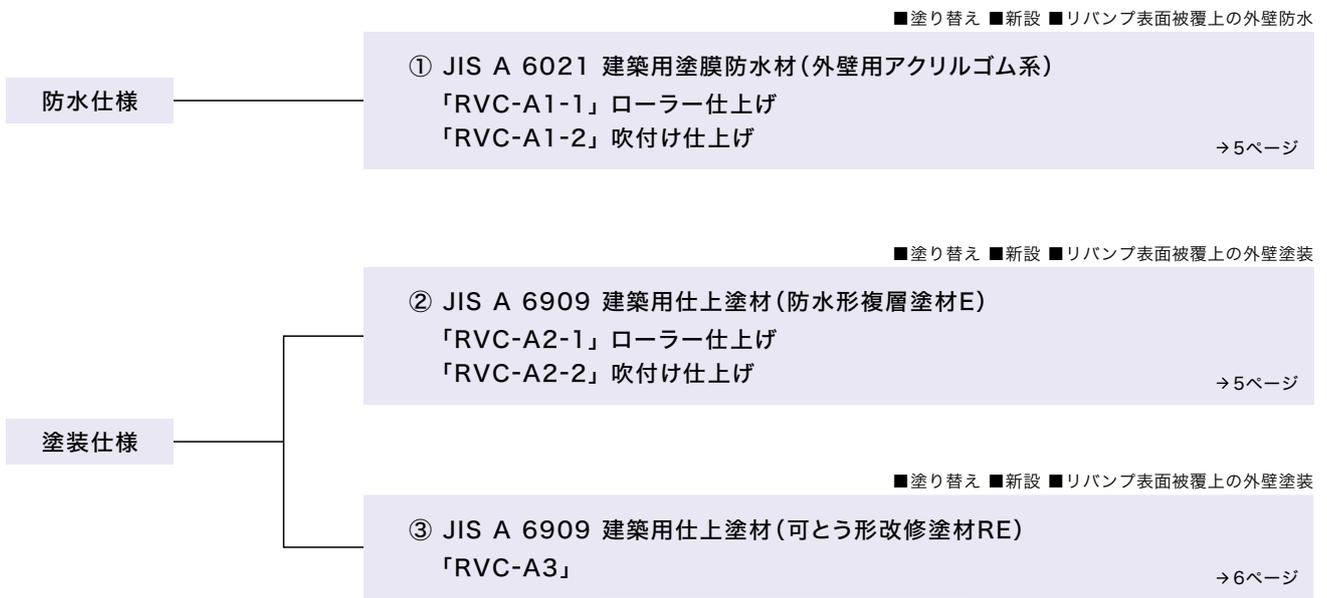
劣化した軒天



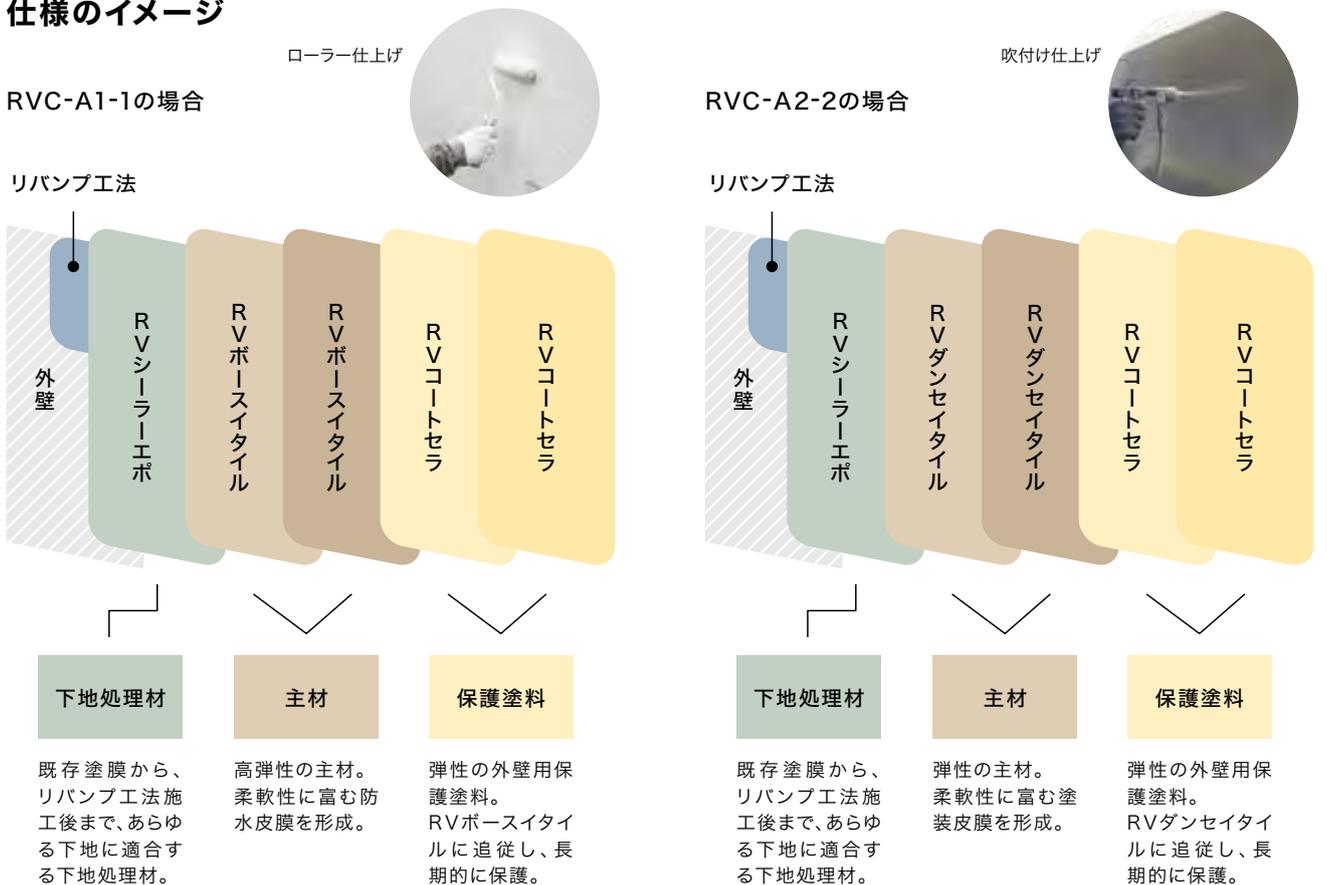
劣化した巾木



仕様選定チャート



仕様のイメージ

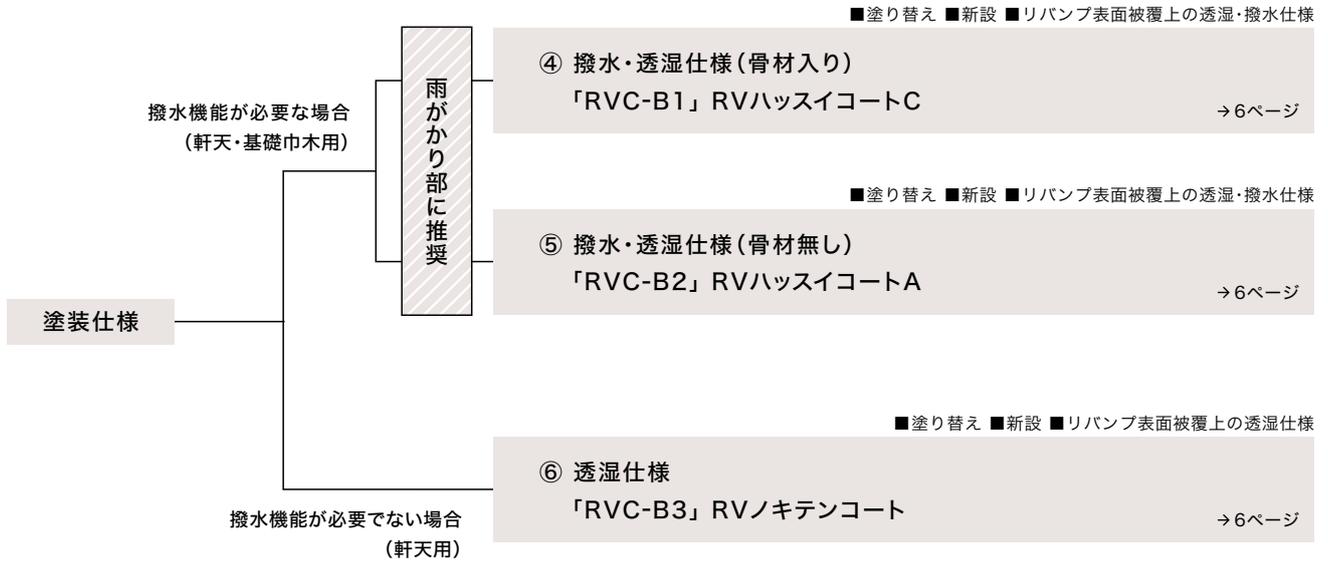


軒天・基礎巾木など

仕様選定チャート・仕様のイメージ



仕様選定チャート

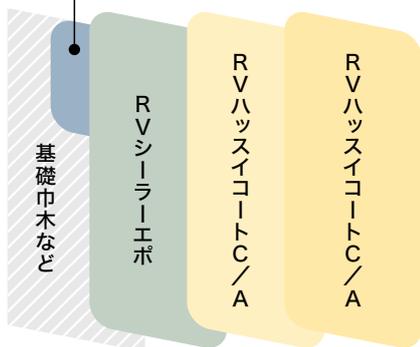


仕様のイメージ

RVC-B1の場合



リバンプ工法



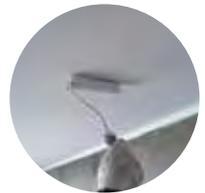
下地処理材

既存塗膜から、リバンプ工法施工後まで、あらゆる下地に適合する下地処理材。

保護塗料

撥水性透湿性の求められる部位用保護塗料。表面の微細突起により、撥水性を發揮。

RVC-B3の場合



リバンプ工法



下地処理材

既存塗膜から、リバンプ工法施工後まで、あらゆる下地に適合する下地処理材。

保護塗料

軒天塗り替え用の外壁用保護塗料。透湿性により、塗膜のフクレや剥離を抑制。

仕様一覧

外壁面など(防水・劣化因子抑制)

防水仕様① リバンプコート **RVC-A1-1** JIS A 6021 外壁用アクリルゴム系(ローラー)

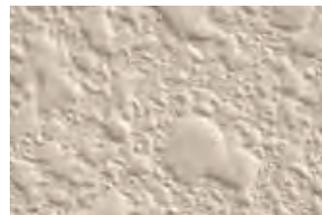
	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1} 0.07~0.17kg ^{※2}	2h以上
2	RVポーシタイルR:清水	100:0~1	1.0~1.2kg	5h以上
3	RVポーシタイルR:清水	100:0~1	1.0~1.2kg	16h以上
4	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	3h以上5日以内
5	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	最終24h以上



RVC-A1-1 さざ波模様仕上げ(ローラー)

防水仕様① リバンプコート **RVC-A1-2** JIS A 6021 外壁用アクリルゴム系(吹付け)

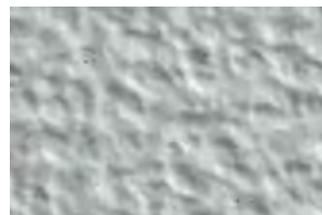
	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1} 0.07~0.17kg ^{※2}	2h以上
2	RVポーシタイルS:清水	100:4~6	1.5~1.8kg	5h以上
3	RVポーシタイルS:清水	100:0~2	0.7~1.3kg	16h以上
4	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	3h以上5日以内
5	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	最終24h以上



RVC-A1-2 凹凸模様仕上げ(吹付け)

塗装仕様② リバンプコート **RVC-A2-1** JIS A 6909 防水形複層塗材E(ローラー)

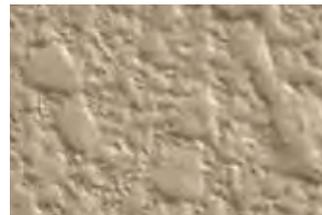
	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1} 0.07~0.17kg ^{※2}	2h以上
2	RVダンセイタイルR:清水	100:0~3	1.0~1.2kg	5h以上
3	RVダンセイタイルR:清水	100:0~3	1.0~1.2kg	16h以上
4	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	3h以上5日以内
5	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	最終24h以上



RVC-A2-1 さざ波模様仕上げ(ローラー)

塗装仕様② リバンプコート **RVC-A2-2** JIS A 6909 防水形複層塗材E(吹付け)

	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1} 0.07~0.17kg ^{※2}	2h以上
2	RVダンセイタイルS:清水	100:4~6	1.5~1.8kg	5h以上
3	RVダンセイタイルS:清水	100:1~3	1.0~1.3kg	16h以上
4	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	3h以上5日以内
5	RVコートセラ:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	最終24h以上



RVC-A2-2 凹凸模様仕上げ(吹付け)

外壁面など(防水・劣化因子抑制)

塗装仕様③ リバンプコート **RVC-A3-1** JIS A 6909 可とう形改修塗材RE

	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1}	2h以上
2	RVフィラー:清水	100:1~3	0.8~1.5kg	8h以上
3	RVコートシリコン:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	3h以上
4	RVコートシリコン:清水	100:5~15	0.15~0.2kg	最終24h以上



RVC-A3 さざ波模様仕上げ(ローラー)

※RVC-A3以降の枝番は以下の工程によって分かります。

枝番	下地	RVシーラーエポ	RVフィラー使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)	仕上げパターン
-1	リバンプ工法	あり	0.8~1.5kg	8h以上	新しいパターンで仕上げる場合
-2	既存塗装	なし			
-3			0.3~0.5kg	5h以上	

軒天・基礎巾木など(透湿・撥水)

撥水・透湿仕様④ リバンプコート **RVC-B1** 撥水形特殊変性シリコン樹脂塗料(骨材入り)

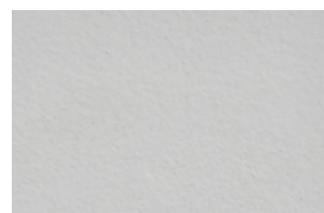
	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1} 0.07~0.17kg ^{※2}	2h以上
2	RVハッスイコートC:清水	100:5~10	0.3~0.5kg	3h以上
3	RVハッスイコートC:清水	100:0~3	0.7~1.0kg	最終24h以上



RVC-B1 骨材入り

撥水・透湿仕様⑤ リバンプコート **RVC-B2** 撥水形特殊変性シリコン樹脂塗料(骨材無し)

	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1} 0.07~0.17kg ^{※2}	2h以上
2	RVハッスイコートA:清水	100:5~15	0.12~0.2kg	2h以上
3	RVハッスイコートA:清水	100:5~15	0.12~0.2kg	最終24h以上



RVC-B2 骨材無し

透湿仕様⑥ リバンプコート **RVC-B3** 透湿形微弾性アクリルシリコン樹脂塗料

	製品名	調合重量比	使用量 (/m ²)	次工程間隔(23℃)
1	RVシーラーエポ	100(無希釈)	0.2kg ^{※1} 0.07~0.17kg ^{※2}	2h以上
2	RVノキテンコート:清水	100:5~10	0.25~0.4kg	2h以上
3	RVノキテンコート:清水	100:5~10	0.25~0.4kg	最終24h以上



RVC-B3 骨材入り

※1 RVシーラーエポの塗布量(0.2kg/m²)はリバンプ表面被覆工法を下地とした場合です。

※2 既存塗装仕上げ上への増塗りの場合の塗布量は下地状況により変動します。

※各仕様とも屋内での採用も可能です。

※ご採用に際し、仕上げ色については(一社)日本塗料工業会の色見本帳より色番号をご指定ください。

色番号によっては調色不可の場合もございますので、弊社営業担当にご相談ください。

※印刷のため実際の色とは異なります。塗り見本にてご確認ください。

技術資料

外壁用 主材「RVボースタイル」「RVダンセイタイル」「RVフィラー」

ゴム弾性体の柔軟性に富む防水皮膜は、幅広い温度範囲で下地に発生するひび割れや変形に追従するため、過酷な気象条件下においても優れた効果を発揮して外壁からの雨水の浸入を防ぎます。

RVボースタイル

- 防水性 ●高弾性

JIS A 6021 に適合した高弾性主材であり、連続した厚い防水皮膜を形成します。



RVボースタイルR

JIS A 6021 外壁用アクリルゴム系 性能表より一部抜粋

試験項目	試験結果(代表値)			
	引張強さ (N/mm ²)	規格	破断時のつかみ間の伸び率(%)	規格
-20℃	6.6	1.3以上	120	70以上
23℃	1.8	1.3以上	260	180以上
60℃	1.7	0.4以上	180	150以上

RVボースタイルR 劣化処理後の引張性能

JIS A 6021 外壁用アクリルゴム系 性能表より一部抜粋

試験項目	試験結果(代表値)			
	強さ比(%)	規格	破断時の伸び率(%)	規格
加熱処理後	100	80以上	350	200以上
促進暴露処理後	140	80以上	360	200以上
アルカリ処理後	110	60以上	280	200以上

RVダンセイタイル

- 防水性 ●弾性

JIS A 6909 に適合した弾性主材です。



RVダンセイタイルR JIS A 6909 防水形複層塗材E 性能表より一部抜粋

試験項目	試験結果(代表値)	
	伸び率(%)	規格
20℃時	320	120以上
-10℃時	60	20以上
浸水後	270	100以上
加熱後	250	100以上

RVフィラー

- 微弾性



低温から高温まで幅広い範囲で躯体の微細なひび割れに追従し、漏水のない美しい外観を永く保ちます。

RVフィラー JIS A 6909 可とう形改修塗材RE 性能表より一部抜粋

試験項目	試験結果(代表値)	規格
可とう性	合格	ひび割れが無い

外壁用 保護塗料「RVコートセラ」「RVコートシリコン」

RVコートセラ

- 超高耐候性 ●超低汚染性
- 防カビ・防藻性 ●高弾性

柔軟性のある防水層に追従し、長期的な保護を可能とします。さらにシロキサン架橋効果による高耐候性、セラミック形無機架橋剤配合効果による低汚染性など、美観の維持も可能になります。



RVコートシリコン

- 高耐候性 ●低汚染性
- 防カビ・防藻性 ●低VOC・低臭性

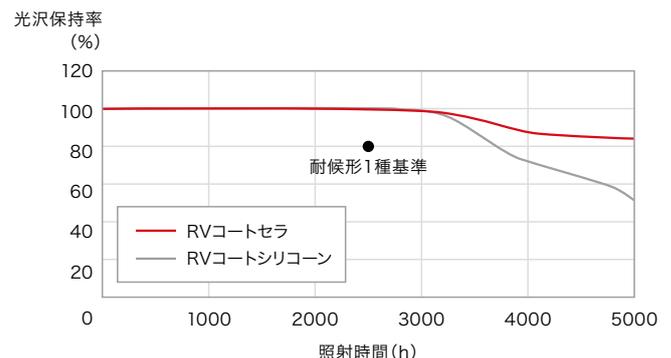
耐久性・追従性に優れた高耐久性塗料です。低VOC性のため、環境汚染対策と同時に周辺生活環境の保全にも貢献します。



高耐候性

JIS A 6909の耐候性試験B法で耐候形1種※をクリアする高耐候性を有しています。

促進耐候性試験(キセノン) 試験塗料色: 白



※耐候形1種とは耐候性試験で2,500時間経過後、光沢保持率が80%以上であることが条件になります。

軒天・基礎巾木用 保護塗料「RVハッスイコート」「RVノキテンコート」

RVハッスイコート

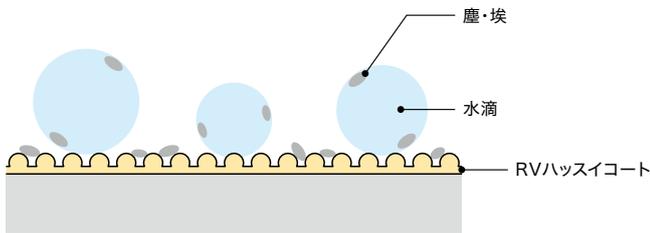


- 撥水性 ●透湿性 ●耐候性 ●低汚染性 ●防カビ・防藻性 ●下地追従性 ●安全性

疎水性を有する塗膜表面の小さな突起によってハスの葉に似た撥水性を発現します。

塗膜表面に接触した水滴は球状となり、付着した塵や埃などと一緒に転がり落ちる「ロータス効果」によって自浄作用が働き、長期にわたって美観を保つことができます。

ロータス効果



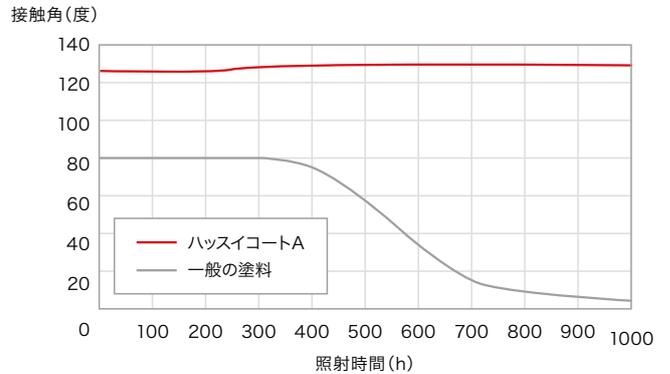
RVハッスイコートの「ロータス効果」

約10年に相当する促進劣化後も高い撥水性を維持しています。

高耐候性

ハッスイコートA・Cは耐候性に優れ、撥水性を長期に維持します。

促進耐候性試験※(デューパネル) 試験塗料色:白



※促進耐候性試験とは光・熱・雨などの屋外環境を人工的に再現することで、試料の劣化を促進し、耐候性を評価します。

RVノキテンコート



- 透湿性 ●経済性 ●美観向上
- 下地追従性 ●安全性

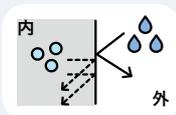
下地からの水分を放散する透湿性塗膜のため、塗膜の剥離やフクレを抑制します。また、微生物の発生を抑制する防カビ・防藻剤を配合しています。

透湿性

水蒸気透過性を有するので、躯体内の水分を外部に発散します。

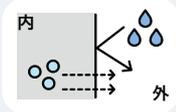
製品名	水蒸気透過度(g/m ² ・24h)JIS Z 0208による
ハッスイコートA	126
ハッスイコートC	128
ノキテンコート	96

「防水」と「撥水」の違いは？



防水

「防水」は躯体を被覆することで水分を遮断しますが、その代わり漏水などで躯体内部に水分が入ればいつまでもそこに閉じ込められます。



撥水

「撥水」は「防水」より水分を遮断する機能は劣るものの、通気性を保ちながら水分を弾く機能があります。塗料の分子の隙間より小さな水分は透過するため、水分は躯体内部に閉じ込められることはありません。

材料一覧

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

品名	規格	備考
RVシーラーエポ	14kg/缶	ナノカチオン系特殊エポキシ変性アクリル樹脂系シーラー (低VOC)
RVボースイタイルR/S	18kg/缶	建築用塗膜防水材 (外壁用アクリルゴム系) R:ローラー/S:吹付 JIS A 6021
RVダンセイタイルR/S	20kg/缶	建築用仕上塗材 (防水形複層塗材E 主材) R:ローラー/S:吹付 JIS A 6909
RVフィラー	16kg/缶	建築用仕上塗材 (可とう形改修塗材RE) JIS A 6909
RVコートセラ	15kg/セット (主剤:14kg, 硬化剤:1kg)	水性弾性2液反応硬化型無機系塗料
RVコートシリコン	16kg/缶	1液反応硬化型アクリルシリコン樹脂塗料 (低VOC)
RVハッスイコートC	20kg/缶	1液撥水形特殊変性シリコン樹脂塗料 骨材入り
RVハッスイコートA	16kg/缶	1液撥水形特殊変性シリコン樹脂塗料 骨材無し
RVノキテンコート	20kg/缶	1液透湿形微弾性アクリルシリコン樹脂塗料
RVエポキシプライマー	15kg/セット (A剤:12kg, B剤:3kg)	エポキシ樹脂系プライマー (ウレタン系材料の上にリバンブートを塗布する場合に使用)
OTプライマーQQ	16kg/缶	速硬化型ウレタン系プライマー (リバンブートの上にウレタン系材料を塗布する場合に使用)
プライマーBP	0.45kg/缶	ウレタン系プライマー (金属下地用)

※OTプライマーQQ、プライマーBP以外は全て受注生産品となります。



RVシーラーエポ

亜硝酸リチウムに適合した特殊シーラー。リバンブート全ての仕様に対応。
F☆☆☆☆



RVボースイタイルR/S

高弾性タイプの主材。下地ひび割れに追従し、防水機能を満たす。
F☆☆☆☆



RVダンセイタイルR/S

弾性タイプの主材。下地追従性に優れる。
F☆☆☆☆



RVフィラー

微細ひび割れに追従する、微弾性タイプの主材。
F☆☆☆☆



RVコートセラ

柔軟性のある防水性主材に追従できる弾性形の超高耐久無機系保護塗料。
(濃彩色・中彩色・淡彩色)
F☆☆☆☆



RVコートシリコン

密着性、耐久性に優れたシリコン系保護塗料。
(濃彩色・中彩色・淡彩色)
F☆☆☆☆



RVハッスイコートC/A

透湿性に加え、塗膜表面の微細な突起により撥水性を有する塗料。
(濃彩色・中彩色・淡彩色)
F☆☆☆☆



RVノキテンコート

透湿性により躯体の水分を透過させ、塗膜のフクレや剥離を抑制する塗料。
(中彩色・淡彩色)
F☆☆☆☆

※濃彩色は価格が割増しとなります。
※RVコートセラ、RVコートシリコンの仕上げは、つやあり・7分つや・5分つや・3分つやからお選びいただけます。
※ハッスイコートC/A、ノキテンコートの仕上げは、つやなしのみとなります。

【取り合い部用プライマー】各取り合い部へはRVシーラーエポに替えて下記のプライマーをご使用ください。



RVエポキシプライマー

ウレタン系材料の上にリバンブートを塗布する際に用いるプライマー。(塗布量:0.1kg/m²)
F☆☆☆☆



OTプライマーQQ

リバンブートの上にウレタン系材料を塗布する際に用いるプライマー。(塗布量:0.1kg/m²)
F☆☆☆☆



プライマーBP

金属面にリバンブートを塗布する際に用いるプライマー。
(塗布量:0.1kg/m²)

プライマーBP
使用箇所例



施工者の皆様へ

施工上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 施工面は十分に乾燥させてください。
- 降雨・積雪・結露の恐れのある場合は、塗装を避けてください。
- 塗料は十分に攪拌し、内容物を均一にしてからご使用ください。
- 2液形塗料(RVコートセラ)の場合、主剤・硬化剤は正確に混合し、使用前にハンドミキサー等を用い十分に攪拌し、均一化してから塗装してください。また可使時間以内にご使用ください。
- 過剰な希釈は、透け・仕上がり不良などの原因になりますのでご注意ください。
- 施工時は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 吹付け操作はガンのノズルを下地面に対し直角に保ち、吹付け圧・吹付け距離・施工速度を常に一定にし、ムラなく均一に吹付けてください。
- 主材塗り(吹付け)は、試し吹きで仕上がりを確認した後、本施工に入ってください。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
- 塗装後の刷毛、ローラーなどの用具は早めに水洗いしてください。
- 補修塗りは使用した材料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。

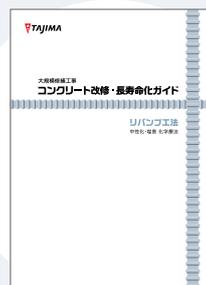
取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
頭巾、保護めがね、防塵マスク、えり巻きタオル、前掛け、長袖の作業衣、保護手袋
- 容器から取り出すときは、こぼさないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウェスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記の場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときには、産業廃棄物として各自治体の処理方法に従って処理してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

※建物の構造、塗装部位(雨掛りの少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染性が発揮されないことがありますのでご了承ください。

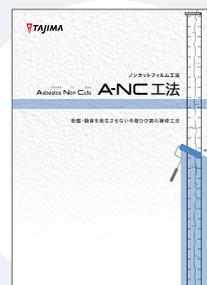
リバンコートは、状態に応じた
躯体補修工法として活用できる
中性化・塩害化学療法「リバン
工法」の亜硝酸リチウム下地
に対し、影響なく直接、仕上げ材と
してご採用いただけます。

詳しくは
「コンクリート改修・長寿命化ガイド」を
ご覧ください ▶



リバンコートは、粉塵・騒音を
発生させない外壁ひび割れ補修
工法「A-NC工法」の仕上げ材と
してもご採用いただけます。

詳しくは
「A-NC工法」カタログを
ご覧ください ▶



北海道防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合
関東防水管理事業協同組合
東海防水改修工事協同組合
北陸防水改修事業センター
関西防水管理事業協同組合
中国防水改修事業センター
九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

カタログ掲載上のおことわり

- ・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
- ・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
- ・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。